

# 家畜衛生 いずも

H30年度 No.2  
2019. 1月



島根県東部農林振興センター出雲家畜衛生部(出雲家畜保健衛生所)

〒699-0822 出雲市神西沖町 918-4 TEL(0853)43-7900 FAX(0853)43-2801

## ★家畜防疫関連情報

伝染病阻止はやっぱりアナログで…

平成 30 年 9 月、国内で 26 年ぶりに「豚コレラ」が確認されました。発生そして拡大イコール畜産の危機となる「最重要疾病」の 1 つに含まれ、絶えず監視対象ではありましたが、我々も実際に目にしたことの無い“昔”の伝染病との思いから、大きな驚きとともに感染拡大に対する危機感を持っています。

基本はコレですね、やっぱり



今回の国内事例のウイルスは、以前国内で流行したウイルス株とは近似しておらず、海外から持ち込まれたものと思われます。そのウイルスが野生いのししに取り込まれ、何らかの経路で飼養豚に接触したものと思われます。

ウイルスを保有した媒介動物である野生いのしし対策は、本病阻止の喫緊の重要課題となりました。



これを受け、飯南町の「奥出雲ファーム」では、いのしし侵入阻止を図るため、農場周囲に電気牧柵を設置しました。何しろ農場周囲が約 1km にも及び、また足元の悪い起伏のある場所もありましたが、マンパワーで即日設置しました。

現代の畜産業界は技術革新が目覚ましく、IoT を駆使して AI 機能で家畜を管理する、つまり遠隔的に家畜の健康状態を把握する技術は発達してきました。しかし、目に見えないウイルスや細菌による伝染病は未だこうしたアナログ的対策が有効です。絶えず、発生が危惧される口蹄疫や鳥インフルやその他の感染症対策にも言わずもがなですね。

やや見えにくいですが…

## ★定期報告書

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの国内での発生を受け、家畜伝染病予防法が改正され、愛玩目的も含めて家畜を飼養している方は、その飼養状況などを、毎年、県(家畜保健衛生所)に報告していただくことになりました。

今年も、報告の時期となりましたので、よろしくお願いいたします。

### 1. 対象となる家畜

牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚、いのしし  
家きん(鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥)



### 2. 報告内容

平成31年2月1日現在の飼養状況

※詳しくは、同封の資料をご覧ください。

### 3. 報告期限

平成31年3月15日(金)

### 4. 提出方法

出雲家畜保健衛生所に提出(持参、郵送、ファックス)してください。

または、農協を経由して提出できます。詳しくは、同封の資料をご覧ください。

## ★飼養衛生管理基準巡回

飼養衛生管理基準は、畜産農家の方が日常に飼養管理において守っていくべき項目をまとめたものです。定期報告書の提出に併せて、飼養衛生管理基準の遵守状況も提出いただいております。この機会に、再度のご確認をお願いいたします。

### 飼養衛生管理基準は大きくまとめると以下のような内容です

- ① 家畜防疫に関する最新の情報を確認しましょう
- ② 衛生管理区域を設定しましょう
- ③ 衛生管理区域への病原体の持込みを防止しましょう
- ④ 野生動物による病原体の侵入を防ぎましょう
- ⑤ 衛生管理区域の衛生状態を保ちましょう
- ⑥ 牛の健康観察を行いましょう
- ⑦ 埋却のための土地を確保しておきましょう
- ⑧ 農場訪問者や家畜の診療の記録を作って保存しておきましょう

なお、家畜伝染病予防法に基づき、家畜保健衛生所の職員が皆様の農場へ訪問し、飼養衛生管理基準の遵守状況を確認させていただいております。慌ただしい時期ではありますが、まだ訪問させていただいてない農場におかれましては、対応をお願いいたします。

## ★5条検査(ヨーネ病検査)

家畜保健衛生所では、家畜伝染病予防法第5条に基づき、ヨーネ病検査を実施しています。5か年で管内全戸を検査する計画で実施しており、今年度は、奥出雲町(旧仁多町の区域)、雲南市(旧吉田村および旧掛合町の区域)が対象でした。

平成31年度は、以下の地域の検査を実施します。畜産農家および関係機関の皆様には、ご協力をお願いいたします。

- 対象地域 : 出雲市(旧斐川町の区域)、雲南市(旧大原郡の区域)  
検査対象牛 : 24ヵ月齢以上の搾乳牛および繁殖牛等  
検査項目 : ヨーネ病抗体検査(採血をして検査します)  
検査費用 : 1頭あたり800円

### ヨーネ病とは??

家畜伝染病予防法で指定されている**家畜の法定伝染病**です。全国で感染牛が確認されていて、**ワクチンや治療法がない病気**です。原因はヨーネ菌で、牛に頑固な下痢をおこします。

本病の防疫対策には、感染牛の摘発と殺処分、徹底した消毒が必要です。

## ★県種畜共進会が開催されました

平成30年度島根県種畜共進会が10月20日に島根県中央家畜市場で開催されました。この日、県内各地から肉用牛46頭、乳用牛36頭が出品され、日頃から取り組んでおられます愛牛の改良の成果を競いました。

当部管内からの出品牛の主な成績は、第1部の肉用種牛で、奥出雲町の金倉弘美さん出品の「きくみくに」号が第3区若雌区の首席に選ばれました。さらに、各区の首席から選ばれるグランドチャンピオン戦で次席となりました。また、部位賞である資質賞に奥出雲町の新宮茂さん出品の「ふくてる」号、前軀賞に奥出雲町の金倉弘美さんの「きくみくに」号、腿賞に雲南市掛合



乳用種第6区グランドチャンピオンと永瀬哲也さん

町の田部武さん出品の「ゆりはる」号が選ばれました。

第2部の乳用種牛で各区の首席は、第1区(未経産A)で出雲市河村保志さん出品の「リバービレッジ MS マツカチエン サンデー」号、第3区(未経産C)で出雲市和田健敏さん出品の「WF エルビー ジョビアン」号、第4区(未経産D)で出雲市長廻康治さん出品の「NF アレックス ジュラー」号、第5区(経産牛A)で、出雲市河村保志さん出品の「リバービレッジ ゴールド シド プリティー」号、第6区(経産牛B)で出雲市永瀬哲也さん出品の「IDEE サン

チエス ルイ ET」号が選ばれ、さらに、出雲市の永瀬哲也さん所有の「IDEE サンチエス ルイ ET」号は、この部のグランドチャンピオンに輝きました。グランドチャンピオンから5席まで管内農家の方の所有牛が独占という快挙を成し遂げました。

入賞された農家の皆様、関係者の皆様、おめでとうございます。

## ★平成30年度 鳥根県家畜人工授精優良技術発表会が開催されました

11月に家畜人工授精優良技術発表会が開催され、管内からは出雲支部の酪農家の川上哲也さんが「効率的な繁殖管理を活用した酪農経営」について発表しました。

川上さんが取り組んでいる30日乾乳やゲノミック評価、高能力牛と淘汰予定牛の活用とその成果について、有意義な内容の発表でした。



県内各支部から3題の発表がありましたが、川上さんの演題が県知事賞を受賞し、2月に東京で行われる全国大会に川上さんが選出されました。おめでとうございます！



## ★受精卵移植研修会を開催しました

今年度実施された養成講習会で、新たに受精卵移植(ET)師免許を取得したET師と、前回取得したET師を対象に、受精卵移植研修会を開催しました。11月に奥出雲町の和牛飼養農場で2名のET師が参加し、技術の向上にむけて奮闘しました。今後とも取り組みを続け、技術を磨いて、それぞれの地域で牛の改良・増殖につなげてもらいたいと思います。



## ★第2回鳥根県肉牛枝肉共進会が開催されました

12月に第2回鳥根県肉牛枝肉共進会が開催されました。16農場24頭の出品があり、そのうち管内からは8農場13頭の出品がありました。優秀賞1席に(有)藤増の枝肉が選ばれました。おめでとうございます。

枝肉はローズ芯面積 90cm、バラの厚さ 9.6cm、皮下脂肪の厚さ 1.4cm、BMSNo.11 で、カブリも厚く、バランスのとれたボリューム感のある、すばらしい枝肉でした。



ひき続きよろしくお願いたします！

